

安全データシート (SDS)

1 製品及び会社情報

製品の名称 アンツノー粒剤

| | |
|----------|--|
| 会社名 | アース製薬株式会社 |
| 住所 | 〒101-0048 東京都千代田区神田司町 2-12-1 |
| 担当部門 | 開発部 電話番号 03-5207-7464、FAX 番号 03-5207-7485 |
| 緊急連絡電話番号 | お客様窓口 0120-81-6456 |

2 危険有害性の要約

GHS 分類

| | | |
|----------|------------------|-------------------|
| 物理化学的危険性 | 爆発物 | 分類できない |
| | 可燃性／引火性ガス | 分類対象外 |
| | エアゾール | 分類対象外 |
| | 支燃性／酸化性ガス | 分類対象外 |
| | 高压ガス | 分類対象外 |
| | 引火性液体 | 分類対象外 |
| | 可燃性固体 | 分類できない |
| | 自己反応性物質および混合物 | 分類できない |
| | 自然発火性液体 | 分類対象外 |
| | 自然発火性固体 | 区分に該当しない |
| | 自己発熱性物質および混合物 | 分類できない |
| | 水反応可燃性物質および混合物 | 区分に該当しない |
| | 酸化性液体 | 分類対象外 |
| | 酸化性固体 | 分類できない |
| | 有機過酸化物 | 区分に該当しない |
| | 金属腐食性物質 | 分類できない |
| | 鈍感化爆発物 | 分類できない |
| 健康有害性 | 急性毒性 (経口) | 区分に該当しない |
| | 急性毒性 (経皮) | 区分に該当しない |
| | 急性毒性 (吸入：ガス) | 分類対象外 |
| | 急性毒性 (吸入：蒸気) | 分類できない |
| | 急性毒性 (吸入：粉塵) | 分類できない |
| | 急性毒性 (吸入：ミスト) | 分類対象外 |
| | 皮膚腐食性／刺激性 | 分類できない |
| | 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 | 分類できない |
| | 呼吸器感作性 | 分類できない |
| | 皮膚感作性 | 分類できない |
| | 生殖細胞変異原性 | 分類できない |
| | 発がん性 | 分類できない |
| | 生殖毒性 | 区分 2 ¹ |
| | 特定標的臓器毒性 (単回ばく露) | 分類できない |
| | 特定標的臓器毒性 (反復ばく露) | 分類できない |
| 誤えん有害性 | 分類できない | |

| | | |
|-------|--------------|-------------------|
| 環境有害性 | 水生環境有害性 (急性) | 区分 1 ² |
| | 水生環境有害性 (慢性) | 区分 1 ² |
| | オゾン層への有害性 | 分類できない |

1. 生殖毒性については、各成分の情報から分類した結果、区分 2 とした。
2. 水生環境有害性 (急性) 及び水生環境有害性 (慢性) については、各成分の情報から加算法により分類した結果、水生環境有害性 (急性) 及び水生環境有害性 (慢性) とも区分 1 とした。

ラベル要素

絵表示またはシンボル：



注 意 喚 起 語：警告

危 険 有 害 性 情 報：生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

注 意 書 き：【安全対策】

- ・ 使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・ すべての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。
- ・ 定められた使用方法を厳守すること。
- ・ アレルギー症状やかぶれなどを起こしやすい特異体質の人は、本品の処理作業には従事しないこと。
- ・ 保護面、保護眼鏡、保護衣、保護手袋等を着用すること。
- ・ 環境への放出を避けること。
- ・ 漏出物を回収すること。

【応急処置】

- ・ 飲み込んだ場合は、水でよく口の中を洗浄すること。コップ 1～2 杯の水または牛乳を与え、胃内で薄めてもよい。無理に吐かせようとせず、直ちに医師の診療を受けること。
- ・ 皮膚に付着した場合は、石けんと水で洗うこと。外観に変化が見られたり、痛みが続いたりする場合は、速やかに医師の診療を受けること。
- ・ 吸入した場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移動させ、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分不良等の異常が続いたりする場合は、医師の診療を受けること。
- ・ 眼に入った場合は、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、速やかに医師の診療を受けること。
- ・ ばく露またはばく露の懸念がある場合は、医師の診療を受けること。

【保管】

- ・ 直射日光や高温多湿を避け、施錠して保管すること。
- ・ 食品、食器、飼料等と区別し、小児の手の届かない場所に保管すること。

【廃棄】

- ・ 使用済みの空容器は適切に処分すること。

最重要危険有害性：情報なし

重要な徴候及び想定される非常事態の概要：情報なし

3 組成、成分情報

混合物

| 配合目的 | 名称 | CAS 番号 | 濃度 |
|------|----------|-------------|------|
| 有効成分 | ビストリフルロン | 201593-84-2 | 非開示 |
| 有効成分 | ほう酸 | 10043-35-3 | 1.0% |
| 誘引剤 | 天然物 | — | 非開示 |
| 滑沢剤 | 軽質無水ケイ酸 | 7631-86-9 | 2.0% |

危険有害成分

| 名称 | PRTR | 安衛法 通知対象 | 毒劇法 | CAS 番号 | 濃度 |
|-----|------|-------------|-------|------------|------|
| ほう酸 | 該当 | 該当しない | 該当しない | 10043-35-3 | 1.0% |

4 応急措置

- 飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗浄する。コップ1～2杯の水または牛乳を与え、胃内で薄めてもよい。無理に吐かせようとせず、直ちに医師の診療を受ける。
- 皮膚に付着した場合：石けんと水で洗う。外観に変化が見られたり、痛みが続いたりする場合は、速やかに医師の診療を受ける。
- 吸入した場合：直ちに空気の新鮮な場所へ移動させ、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分不良等の異常が続いたりする場合は、医師の診療を受ける。
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、洗浄を続ける。眼の刺激が続く場合は、速やかに医師の診療を受ける。
- ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診療を受ける。

5 火災時の措置

- 消火剤：二酸化炭素、粉末、乾燥砂、泡消火剤
使ってはならない消火剤：情報なし
- 特定の危険有害性：燃焼ガスには、有毒なガスが含まれる可能性があるため、消火作業の際には煙を吸入しないように注意する。
- 消火を行う者の保護：消火作業は風上から行い、有毒なガスの吸入は避ける。必ず適切な保護具（呼吸用保護具、保護面、保護眼鏡、保護手袋、保護衣、長靴等）を着用する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急用措置

- 保護具（呼吸用保護具、保護面、保護眼鏡、保護手袋、保護衣、長靴等）を着用して行う。
風下の人を退避させ、風上から作業する。付近の着火源となるものを速やかに取り除く。
着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。

環境に対する注意事項

- 土壌汚染を防ぎ、下水、排水等へ流入しないようにする。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- 容器（廃棄物入れ）に回収し、汚染した箇所を洗剤と水でよく洗浄する。洗浄水は密閉できる容器（廃棄物入れ）に回収する（処分は「13 廃棄上の注意」に従う）。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

注意事項 1. 定められた使用方法を厳守する。

安全取扱い注意事項

1. アレルギー症状やかぶれなどを起こしやすい特異体質の人は、本品の処理作業には従事しない。
2. 保護面、保護眼鏡、保護衣、保護手袋等を着用する。
3. 環境への放出を避ける。
4. 漏出物を回収する。

保管

技術的対策 1. 直射日光や高温多湿を避け、施錠して保管する。

2. 食品、食器、飼料等と区別し、小児の手の届かない場所に保管する。

混触禁止物質：酸化剤、還元剤、酸性物質、アルカリ性物質

保管条件：直射日光や火気を避け、涼しい場所で保管する。

安全な容器包装材料：本品販売時の包材を使用する。

8 ばく露防止及び保護措置

設備対策 換気設備を備えた場所で取扱う。また、取扱い場所の近くに手洗設備を設ける。

保護具 保護面、保護眼鏡、保護手袋、保護衣、長靴等

9 物理的及び化学的性質

| | |
|-------------------|--------|
| 物理的状態 | : 固体 |
| 外観 | : 淡黄色 |
| 臭い | : 特異臭 |
| 融点／凝固点 | : 情報なし |
| 沸点又は初留点及び沸点範囲 | : 情報なし |
| 可燃性 | : 情報なし |
| 爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 | : 情報なし |
| 引火点 | : 情報なし |
| 自然発火点 | : 情報なし |
| 分解温度 | : 情報なし |
| pH | : 情報なし |
| 動粘性率 | : 情報なし |
| 溶解度 | : 情報なし |
| n-オクタノール/水分配係数 | : 情報なし |
| 蒸気圧 | : 情報なし |
| 密度及び／又は相対密度 | : 情報なし |
| 相対ガス密度 | : 情報なし |
| 粒子特性 | : 情報なし |

10 安定性及び反応性

安定性：通常の貯蔵・取扱いにおいて安定

反応性：情報なし

避けるべき条件：着火源、加熱、静電気帯電

混触危険物質：酸化剤、還元剤、酸性物質、アルカリ性物質

危険有害な分解生成物：情報なし

11 有害性情報

情報なし（別添資料参照）

12 環境影響情報

情報なし (別添資料参照)

13 廃棄上の注意

残余廃棄物：地方公共団体等の条例に従い処理する。もしくは、専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。処理を委託する場合には、処理業者等に本品の危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託する。

汚染容器及び包装：地方公共団体等の条例に従い処理する。もしくは、専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。

14 輸送上の注意

国連番号 : 情報なし

品名 (国連輸送名) : 情報なし

国連分類 : 情報なし

容器等級 : 情報なし

海洋汚染物質 : 情報なし

MARPOL 73/78 附属書及び IBC コード : 情報なし

運搬に際しては、容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。該当法規に従い、輸送を行う。車両、船舶には呼吸用保護具、保護眼鏡、保護衣、保護手袋等の保護具を備える他、異常時の処理に必要な消火器、工具を備えておく。

15 適用法令

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律：非該当

労働安全衛生法：非該当

PRTR：第1種指定化学物質 第405号 ほう素化合物

16 その他の情報

毒物及び劇物取締法：非該当

環境ホルモン : 疑われる化学物質リスト中には含まれず

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものです。

別添

ビストリフルロンの有害性情報と環境影響情報

有害性情報

急性毒性

ラット経口 (♂♀) LD₅₀ > 5,000 mg/kg

ラット経皮 (♂♀) LD₅₀ > 2,000 mg/kg

吸入 情報なし

皮膚腐食性/刺激性

軽度の刺激性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

軽度の刺激性

呼吸器感作性

情報なし

皮膚感作性

情報なし

生殖細胞変異原性

情報なし

発がん性

情報なし

生殖毒性

情報なし

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

情報なし

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

情報なし

誤えん有害性

情報なし

環境影響情報

生態毒性

コイ LC₅₀ (48 時間) > 0.5 mg/L

ミジンコ EC₅₀ (48 時間) 0.0526 mg/L

残留性/分解性

情報なし

生態蓄積性

情報なし

土壤中の移動性

情報なし

オゾン層への有害性

情報なし

別添

ほう酸の有害性情報と環境影響情報

有害性情報

急性毒性

ラット経口 (♂♀) LD₅₀ 3,500~4,100 mg/kg

ラット経皮 (♂♀) LD₅₀ > 2,000 mg/kg

ラット吸入 LC₅₀ > 2.0 mg/L

皮膚腐食性/刺激性

区分に該当しない

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

区分に該当しない

呼吸器感受性

区分に該当しない

皮膚感受性

区分に該当しない

生殖細胞変異原性

区分に該当しない

発がん性

区分に該当しない

生殖毒性

ほう酸のラット、マウス及びイヌを用いた高用量での動物実験では、生殖能力と精巣への影響が示された。化学的に関連するほう酸のラット、マウス及びウサギを用いた高用量の試験では、胎児の重量減少や軽い骨格異常を含む胎児への影響がみられた。最も低いNOAELは、ラットの発達毒性の9.6 mg/kgである。

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

区分に該当しない

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

区分に該当しない

誤えん有害性

区分に該当しない

環境影響情報

生態毒性

Catostomas latipinnis EC₅₀ (28日間) 125 mg B/L

オオミジンコ EC₅₀ (48時間) 133 mg B/L

淡水産単細胞緑藻類 EC₅₀ (74.5時間) 40 mg B/L

残留性/分解性

情報なし

生態蓄積性

情報なし

土壌中の移動性

情報なし

オゾン層への有害性

情報なし